

災害時に飲料水を  
無料提供

4/26

市内3施設に緊急時飲料提供自動販売機を設置  
4月26日(火)、市は、サントリーブーズ(株)と『災害時における飲料の提供等に関する協定』を締結し、緊急時飲料提供自動販売機を設置しました。

この協定は、サントリーブーズ(株)が、災害発生時に緊急時飲料提供自動販売機内の飲料水のほか、災害時備蓄用飲料水120本(2リットルペットボトル)を市に無料提供するもので、小笠原市長とサントリーブーズ(株)の山田裕彦北海道支社長が協定書を取り交わしました。同販売機は、市役所、市民会館、総合体育館に設置しています。



▲ナンバンエビを買い求める市民(左)



▲協定書を交換する山田裕彦北海道支社長(左)と小笠原市長

とれたて新鮮!  
のぼりべつの海の幸

5/1~

平成23年 登別海鮮直市

5月1日(日)、登別海鮮直市(登別まちづくり促進期成会、いぶり中央漁業協同組合、市主催)がJR登別駅横の登別海鮮直市アンテナショップで始まり、約100人の市民や観光客がエビやホッキ貝などを買いました。

初日は、開店して1時間ほどで、用意していた海産物がほぼ完売するほどの盛況ぶり。登別海鮮直市は10月30日までの毎週日曜日10時から開催しています。(完売次第終了、しけにより中止することがあります。)

▼問い合わせ 登別海鮮直市(☎090-975-0134 9時~17時)

姉妹都市白石へ  
登別から元気を

4/29  
~5/8

姉妹都市宮城県白石市  
震災チャリティ物産販売会

4月29日(金)から5月8日(日)まで、鬼なびステーション登別で、3月11日の東日本大震災で被害にあった姉妹都市宮城県白石市に、登別市から元気を送ることを目的に、宮城県白石市震災チャリティ物産販売会(登別まちづくり促進期成会主催)が行われました。店内には白石市の特産品がずらりと並び、訪れた市民や観光客は、普段あまり手に取る機会が無い、白石市の醤油や味噌、米、温麺などに興味津々の様子で、販売員に商品の特徴や調理方法などを尋ねる姿も見られました。

今回の物産販売会で得た収益は、すべて白石市に義援金として送られ、白石市で暮らす皆さんのために役立てられます。



▲販売員(右)の熱心な説明に耳を傾ける市民